

■7月4日

エアアジア・ジャパン (LCC)、成田—台北線に就航、最後の新規路線

全日空が完全子会社化を決めた格安航空会社「エアアジア・ジャパン」は3日、成田—台北(桃園)線を就航した。初便
は成田から約160名が搭乗した。同社は、全日空とアジア最大のLCC「エアアジア」グループの共同出資で設立された
が、全日空は6月25日に合併解消を発表。同路線は最後の新規路線となる。

この日、成田空港で取材に応じた内山正明副社長は、現在の社名での運航を10月26日で終えることを明らかにし
た。新ブランドでの運航再開は11月になる見通し。

(毎日)7/3

<http://mainichi.jp/feature/news/20130703dde041020049000c.html> (->

<http://mainichi.jp/feature/news/20130703dde041020049000c.html>)

(時事ドットコム)7/3

http://www.jiji.com/jc/c?g=ind_30&k=2013070300223 (-> http://www.jiji.com/jc/c?g=ind_30&k=2013070300223)

PEACH(LCC)、スマートフォン向けモバイルサイトを開設

ピーチ・アビエーションは3日、Peachのスマートフォン向けモバイルサイトを開設したことを発表しました。
新しくオープンしたモバイルサイトでは、PC向けのウェブサイトとほぼ同様の予約機能を備え、空港情報や運航情報も
簡単に表示することができる。対象となるのはAndroidOSまたはiOSに対応したスマートフォン、タブレットなどの携帯端
末で、Peachウェブサイト(www.flypeach.com)にアクセスするだけで空席照会や予約、座席指定が可能となる。

(PEACH プレスリリース)7/3

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130703-Press-Release-J.pdf> (->

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130703-Press-Release-J.pdf>)

ジェットスター・ジャパン (LCC)、就航1年、搭乗者数160万人達成

ジェットスター・ジャパンは3日、本日就航1周年を迎え、搭乗者実績は1,600,000人以上、定時運航率は83%であったと
明らかにした。また同社の機材は、全て新造機のエアバスA320で、現在は13機まで増やし、路線数は就航当初の2路
線から現在14路線(期間運航の1路線を含む)まで拡大している。

同社は、現在、成田発の国内線において最大の合計便数を運航(23便)し、就航当初の6便/日から現在70便/日と路
線を広げ、約50万人の利用者が5,000円以下、半数以上が、8,000円以下のチケットを購入したという。

* ジェットスター・プレスリリースより

【ジェットスター豆知識】

1. ご購入頂いたジェットスター・クッキー数: 19,000
2. ご購入頂いたスナック袋数: 102,000
3. ご購入頂いたピーナッツ袋数: 15,000(約500Kg)
4. ご購入頂いた缶ビール本数: 30,000(約11,000リットル)
5. ご購入頂いた冷たいお飲物本数: 80,000(約28,000リットル)
6. ご購入頂いた温かいお飲物カップ数: 50,000(約13,000リットル)
7. 5,000円以下で販売された航空券数: 約50万人
8. 8,000円以下で販売された航空券数: お客様の約半数
9. 男女比率: 男性54%、女性46%
10. 就航以来の総飛行距離: 13,859,727km

(ジェットスター・プレスリリース)7/3

<http://www.jetstar.com/jp/ja/about-> (-> http://www.jetstar.com/jp/ja/about-us/~/_media/75F677D081DF4D5BA180B0F0FDDB79E5.ashx)

[us/~/_media/75F677D081DF4D5BA180B0F0FDDB79E5.ashx](http://www.jetstar.com/jp/ja/about-us/~/_media/75F677D081DF4D5BA180B0F0FDDB79E5.ashx) (-> http://www.jetstar.com/jp/ja/about-us/~/_media/75F677D081DF4D5BA180B0F0FDDB79E5.ashx)

ジェットスター・ジャパン (LCC) CEO、路線展開は国内線充実、予約販路をローソンと提携

ジェットスター・ジャパンの鈴木みゆき社長は日本経済新聞の取材で「当面は国際線よりも国内線を充実させる」と話した。成田—新千歳などの幹線路線を増便、成田と地方空港を結ぶ新規路線も開設する。ジェットスターグループからの乗継ダイヤにも着手し、就航3年目の黒字達成を目指す。なお、同社は7月3日で就航1年を迎え、合計160万人以上の搭乗者を記録し、平均利用率は72%だった。日経が報じた。

一方、整備体制の充実を図る為、関空の拠点化を先送りにしたことに関しては、成田1拠点体制においても、機材数を年内に20機に増やす計画は維持するとした。

また、販売面ではインターネットを通じた予約以外の販路を充実するとし、ローソンと提携し、コンビニで予約からチケットの購入までができる仕組みを築き、中高年など幅広い世代から需要の取り組みを行う計画も明らかにした。

(日経)7/3

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD030L7_T00C13A7TJ1000/ (-> http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD030L7_T00C13A7TJ1000/)

アジアナ航空、松本-仁川線、チャーター便試行

長野県は2日、県営松本空港と仁川国際空港との間で8月末、同国のアジアナ航空が試行的に国際チャーター便を運航することを明らかにした。松本空港から韓国へのチャーター便は運航したことがあるが、韓国からのチャーター便は初めて。

一定期間を区切ってチャーター便を運航する「プログラムチャーター」の実施を視野に、需要があれば、10月上旬～11月下旬にかけて仁川間に国際チャーター便が開設される可能性がある。

(信濃WEB)7/3

<http://www.shinmai.co.jp/news/20130703/KT130702ATI090024000.php> (-> <http://www.shinmai.co.jp/news/20130703/KT130702ATI090024000.php>)

国交省、放射性物質、輸送基準緩和の方針

国交省は、航空機で輸送することができる放射性物質の輸送基準を緩和して、一部の火薬類や高圧ガス、腐食性液体など危険物との混載を可能にする方針を決めた。

癌の診断薬など放射性医薬品の航空輸送需要が増加しており、混載規定を改めることで効率化を図り、ニーズに応える。関係する告示や通達を改正し、8月上旬に施行する。日刊航空が報じた。

世界的には、放射性医薬品物質の輸送の際に混載を制限する規定はないが、日本は唯一の被爆国ということもあり、放射性物質の輸送を独自に規制してきた経緯がある。

(日刊航空)7/3

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

FDA、黄色の7号機受領、機材繰りに余裕

地域航空会社「フジドリームエアラインズ」(FDA)は7月1日、日本に到着した新造機-7号機を愛知県名古屋空港で報道陣に公開した。4日から定期便に就航する予定。今回の導入で機材繰りに余裕ができ、定期便以外のチャーター便も飛ばせるようになるという。

同社の機種はブラジルの航空機メーカーのエンブラエルが製造したERJ175で、これまで導入機はすべて色を変えており、7号機は黄色。

(産経ニュース)7/3

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130703/szk13070315280005-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130703/szk13070315280005-n1.htm>

(FDA プレスリリース)7/1

<http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130701.pdf> (-> <http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130701.pdf>)

ユナイテッド航空、ボーイング787欠航頻度3.8%

(bloombergによると)

ボーイングの最新鋭旅客機「787」(ドリームライナー)を米航空会社で唯一導入しているユナイテッド航空では、787の欠航頻度が残りの同社保有機のほぼ4倍に上っており、依然として787が問題含みであることが示唆された。

航空機の運航状況データを収集しているフライトアウェア・ドット・コムがブルームバーグ・ニュースの委託でまとめた統計によると、ユナイテッド航空が保有する6機の787が5月20日から6月26日までに欠航となった割合は3.8%。同期間、787以外の機種では1%だった。

787はバッテリーの問題に伴い全世界で3カ月にわたり運航停止となっていたが、今回のデータはユナイテッド航空では運航再開後も問題が生じていることを示している。ユナイテッド航空は欠航の理由について説明していない。

(bloomberg)7/3

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MPC0416K50Y301.html> (-> [http://www.bloomberg.co.jp/news/123-](http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MPC0416K50Y301.html)

[MPC0416K50Y301.html](http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MPC0416K50Y301.html))

(産経biz)7/1

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/130701/bsd1307010701008-n1.htm> (->

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/130701/bsd1307010701008-n1.htm>)

ダルエスサラーム・エアー(LCC)、2014年運航開始

ブルネイに拠点を置く格安航空会社のダルエスサラーム・エアーが来年第1四半期に運航を開始する見込みだ。初期投資額は64億リンギ。マレーシアやシンガポール、中国から投資が集まっている。

使用機材は、エアバスA380を使用し、インドネシアやフィリピン南部、中国、インドシナのイスラム教徒の巡礼「ハッジ」や小巡礼「ウムラ」巡礼者を主なターゲットとする。

(マレーシアナビ)7/3

<http://www.malaysia-navi.jp/news/?mode=d&i=2119> (-> <http://www.malaysia-navi.jp/news/?mode=d&i=2119>)

大韓航空、5月単月、訪日韓国人、前年同月比44%増

日刊航空によると、

大韓航空はこのほど、同社における訪日需要について、5月単月の訪日韓国人は前年同月比44%増を記録したと発表した。2013年1~5月累計でも前年同期比23%増という数値が出ているという。これは日本政府観光局の発表した韓国からの訪日外客数45.5%増という数字と同様の傾向を示している。

韓国からの訪日客は、首都圏へはもちろん、東北、北海道地域への需要が伸びているという。特に札幌／青森／秋田／静岡などへは、1~5月累計で前年対比40%~70%も増加している(大韓航空輸送実績基準)。6月もこの勢いは継続しており、今後、夏からにかけて更に訪日客が増加するものとみている。また、静岡は、富士山が世界遺産に登録されたこともあり、今後、益々大きな伸びが期待されるとした。

(日刊航空)7/3

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0703-08.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0703-08.pdf>)

エアインディア、ニューデリー—シドニー直行便就航

シドニー国際空港は7月2日、エアインディアがインド・ニューデリーとシドニーを結ぶ直通便を就航すると発表した。豪州初のボーイング787型機を使用し、8月29日から毎日運行する。

ケリー・メイザー空港最高経営責任者によると、豪州・インド間の全旅行者の4割はシドニーから出国しており、昨年の空港利用者数は前年比11%増の28万人を記録した。今回の定期便就航により、観光者数や貿易量のさらなる増加が見込まれる。

(レスポンス)7/3

<http://response.jp/article/2013/07/03/201437.html> (-> <http://response.jp/article/2013/07/03/201437.html>)